



ViewMail for Outlook での Media Master の使用

- [「Media Master について」 \(P.3\)](#)
- [「録音でのサウンド ファイルの使用」 \(P.3\)](#)
- [「Media Master での録音および再生デバイスの変更」 \(P.4\)](#)
- [「コンピュータのスピーカーが再生デバイスである場合のメッセージ再生音量の変更」 \(P.5\)](#)
- [「コンピュータのスピーカーが再生デバイスである場合のメッセージ再生速度の変更」 \(P.5\)](#)
- [「Media Master のキーボード ショートカット」 \(P.6\)](#)

Media Master について

Media Master は、ViewMail for Outlook を使用して管理するメッセージに表示されます。メッセージを録音および再生するには、Media Master のコントロールをクリックします。

また、Media Master を使用して、ViewMail for Outlook での作業中に使用する録音と再生のデバイスを変更したり、メッセージの再生音量や再生速度を変更したりします。

Media Master 設定を更新すると、ユーザごとに各コンピュータに保存されます。また、別のコンピュータ（自宅のコンピュータなど）も使用して Media Master にアクセスする場合は、2 台目のコンピュータの Media Master 設定も更新する必要があります。

録音でのサウンド ファイルの使用

[オプション (Options)] メニュー (Media Master の 1 つ目のボタン (下向き矢印)) で、録音に他のサウンド (WAV) ファイルを使用できます。次のサウンド ファイル オプションがあります。

[新規 (New)]	録音を消去して再録音します。
[貼り付け (Paste)]	テキスト ファイルにテキストを貼り付けるのと同じ方法でクリップボードからサウンド録音を貼り付けます。
[ファイルから貼り付け (Paste from File)]	別のサウンド ファイルを録音に貼り付けます。

[コピー (Copy)]	テキスト ファイルにテキストをコピーするのと同じ方法でクリップボードにサウンド録音をコピーします。
[ファイルにコピー (Copy to File)]	名前を付けたサウンドファイルに録音をコピーします。 メッセージに暗号のマークが付いている場合、このオプションは使用できません。

Media Master での録音および再生デバイスの変更

ViewMail for Outlook での作業中にメッセージの録音と再生に使用するデバイスを選択できます。

録音デバイス	<ul style="list-style-type: none"> 電話機：Cisco Unity Connection から電話がかかってきたら、受話器またはスピーカーフォンのマイクに向かって話します。 コンピュータのマイク（使用可能な場合）。
再生デバイス	<ul style="list-style-type: none"> 電話機：Cisco Unity Connection から電話がかかってきたら、受話器またはスピーカーフォンのスピーカーから音声を聞きます。 コンピュータのスピーカー（使用可能な場合）。



ヒント

電話は、録音に最適な音声品質を提供します。

Media Master で録音または再生デバイスを変更するには

- ステップ 1** ボイス メッセージが保存されている Outlook フォルダで、メッセージを開きます。
- ステップ 2** Media Master で、[オプション (Options)] メニュー（1 つ目のボタン、下向き矢印）の [再生デバイス (Playback Devices)] または [録音デバイス (Recording Devices)] をクリックし、一覧で使用するデバイスを選択します。
- ステップ 3** [電話 (Phone)] をデバイスとして選択した場合は、電話の情報が正しいか確認します。
- [オプション (Options)] メニューの [オプション (Options)] をクリックします。
 - [Cisco Unity Connection サーバオプション (Cisco Unity Connection Server Options)] ダイアログボックスの [Cisco Unity Connection サーバ名 (Cisco Unity Connection Server Name)] ボックスに、Connection サーバの名前を入力します（サーバ名がわからない場合は、Connection 管理者に連絡してください）。
 - [ユーザ名 (User Name)] ボックスに、Connection ユーザ名を入力します。
 - [パスワード (Password)] ボックスに、Cisco PCA パスワードを入力します。
 - Outlook を起動するたびにパスワードを入力する必要がないように ViewMail for Outlook にパスワードを保存する場合は、[パスワードの保存 (Remember Password)] チェック ボックスにチェックマークを付けます。
 - 組織でプロキシサーバを使用している場合は、[プロキシサーバアドレス (Proxy Server Address)] ボックスに、プロキシサーバの IP アドレスを入力します。
 - 組織でプロキシサーバを使用している場合は、[プロキシサーバポート (Proxy Server Port)] ボックスに、ポートサーバへの接続時に ViewMail for Outlook で使用する必要のあるサーバのポート番号を入力します。

- h. Connection 管理者から指定があった場合は、[HTTPS 証明書の検証 (Validate HTTPS Certificate)] チェック ボックスにチェックマークを付けます。それ以外の場合、このチェック ボックスはオフにします。
- i. [内線番号 (Extension)] ボックスに内線番号を入力します。
- j. [OK] をクリックします。

ステップ 4 [閉じる (Close)] をクリックしてメッセージを閉じます。

コンピュータのスピーカーが再生デバイスである場合のメッセージ再生音量の変更

ここでは、Media Master でコンピュータのスピーカーを再生デバイスとして設定している場合に、ViewMail for Outlook で再生されるすべてのメッセージの再生音量を変更する手順を説明します。

コンピュータのスピーカーが再生デバイスである場合にメッセージ再生音量を変更するには

- ステップ 1** ボイス メッセージが保存されている Outlook フォルダで、メッセージを開きます。
- ステップ 2** Media Master で、[音量 (Volume)] コントロール スライダをクリックしてドラッグし、音量を調整します。
- ステップ 3** [再生 (Play)] をクリックしてメッセージを再生します。これで、コンピュータのスピーカーで聞く際のメッセージの音量設定が保存されます。
- ステップ 4** [閉じる (Close)] をクリックしてボイス メッセージを閉じます。

コンピュータのスピーカーが再生デバイスである場合のメッセージ再生速度の変更

ここでは、Media Master でコンピュータのスピーカーを再生デバイスとして設定している場合に、ViewMail for Outlook で再生されるすべてのメッセージの再生速度を変更する手順を説明します。

コンピュータのスピーカーが再生デバイスである場合にメッセージ再生速度を変更するには

- ステップ 1** ボイス メッセージが保存されている Outlook フォルダで、メッセージを開きます。
- ステップ 2** Media Master で、[スピード (Speed)] コントロール スライダをクリックしてドラッグし、再生速度を調整します。
- ステップ 3** [再生 (Play)] をクリックしてメッセージを再生します。これで、コンピュータのスピーカーで聞く際のメッセージの速度設定が保存されます。
- ステップ 4** [閉じる (Close)] をクリックしてボイス メッセージを閉じます。

Media Master のキーボード ショートカット

表 1 に、ViewMail for Outlook で Media Master を使用するとき利用できるキーボード ショートカットを示します。

表 1 ViewMail での Media Master のキーボード ショートカット

キー	処理
Alt+Shift+P	再生 / 一時停止
Alt+Shift+S	停止
Alt+Shift+R	録音 / 一時停止
Alt+Shift+M	[オプション (Options)] メニューを開く
Alt+Shift+F3	戻る
Alt+Shift+F4	進む
Alt+Shift+F7	音量を下げる
Alt+Shift+F8	音量を上げる
Alt+Shift+F11	再生速度を遅くする
Alt+Shift+F12	再生速度を速くする

キーボードを使用して、[オプション (Options)] メニューの項目を選択することもできます。[オプション (Options)] メニューで選択するオプションの下線の付いた文字を押します。